



「沼津に沼る」◎軽部真一!?

【軽部】 若者の間で沼にはまるという言葉が、良い意味で使われ流行っているのをご存じですか? 何かにのめり込み、熱中して、周りをちよっと忘れるような体験は必要だと思うので、僕はこの言葉が好きなんです。

【市長】 「沼る」ですよ。せっかく沼津市なんだからと使っています。なんだかキャッチーですよ。

【軽部】 そうなんです。沼津にびつたりの言葉なんです。100周年、沼津に沼る。良いじゃないですか! 沼津のことが伝わるきっかけになるかもしれません。広く認知されて効力を発揮するので、発信し続けることが大切です。

【市長】 そうですよ。今でこそ沼津でフエンシングが認知されてきましたが、初めは、なぜ? と市民のみならずも疑問だったと思うんです。でも、過去に国体のフエンシング会場になり、高校フエンシング部や複数のクラブチームがあるなど、土台がありました。発信を始めた頃はまだマイナーなスポーツでしたが、当時の日本フエンシング協会の会長で五輪メダリストの太田雄貴さんとタッグを組み、積極的に情報を出していったことで、応援してくれる企業や個人も増えてきたんです。今度は「沼る」を使って発信を続けたい、若者にもより伝わるかもしれません。

【軽部】 狩野川とか香貫山の五重塔とかを見て、沼津っていいなあと思います。昔ながらの良さを若者に、新しい取組を年配者に伝えようという意識と方法を考えることが必要ですね。沼津に沼れる良いものがたくさんあることが伝われば、若者も定着しますよ。

【市長】 はい。沼津市にはオンライン企業がたくさんあるのに、知られていないために市外に出た学生がリターンしないのが極めて残念です。一方で30歳くらいになって、やっぱり地元が良かったと戻る人が増え始めている。移住してきた人達も、ここは本当に良いところだとおっしゃっています。

【軽部】 一度離れてから改めて関わっている僕は、沼津を客観的に見られる。豊かな自然と利便性があり、文化が息づく沼津は、市民のみならずが思っているよりもっと素晴らしいと思います。特に若い人に気づいてほしいし、子供達には、東京では味わえない体験をしているんだと知ってもらいたい。

【市長】 市としても、軽部さんのような外の視点からの沼津の魅力を、市民のみならずに発信することで、沼津への愛着をさらに深めることに繋がってほしいと思います。

【軽部】 僕は還暦を迎えて、ここから新たな人生が始まると思っています。沼津も100周年、ここからですよ。

【市長】 新たなスタートですよ。動

【軽部】 よし、「沼津に沼る」でいきましょう。なんなら、◎(二)ビーライト) 軽部真一でお願いますね(笑)

伝えればもっと、沼津を好きになる

【軽部】 最近沼津に滞在する機会が増えましたが、夜は静かで落ち着くと思う反面、外に出るとさみしい感じがするんですよ。

【市長】 それは、現実として直視しないといけない問題です。1957年に西武百貨店が地方第一号店として進出し、当時は沼津が静岡県東部の中心地でした。年配の方は当時の賑わいを知っているから、今の状況は特にさみしく感じていると思います。

【軽部】 僕が沼津にいた時に西武百貨店の新館ができて、わくわくしたなあ。

【市長】 沼津駅周辺は地域の中心になった後、老朽化と大型店の進出で郊外に人の流れが移ってしまいましたが、それも落ち着き、再びまちなかに活気が戻ってきています。沼津は駅周辺の大規模な整備事業が本格的に動き出し、それが100周年と重なったんです。気持ちを切り替える最大のチャンスです。

き出した駅周辺の整備事業は市街地の拠点を生み出すことが期待されますし、3月には新総合体育館がオープンして隣接する文化センターとともに、文化芸術、スポーツの拠点ができます。観光拠点の沼津港では、10月にSea級グループ全国大会が開催され、大勢の人が集まる。これまでそれぞれに積み重ねられてきた歴史を活用しながら、点を繋いで、面にして、さらなる賑わいを創出したいと思っています。そのために私も内外に情報が伝わるように工夫しながら、積極的に発信していきます。

【軽部】 沼津は発信できるものがたくさんあります。市長とお話ししながら魅力を再認識できました。微力ながらこれからもお手伝いいたしますので、いつでも声をかけてください。

【市長】 そう言っていたいただき心強いです。今日は感銘を受ける言葉がたくさん飛び出し、授業料を払いたいくらい、学びが多い時間でした。本日は誠にありがとうございました。今後の活躍も楽しみにしています。



【写真解説】 (左上から) 旧沼津御用邸苑地は、記念公園として開放されており、趣がある国指定の名勝/昭和32年に西武百貨店がオープンし、まちなかに賑わいを見せた/海や山など自然に囲まれる沼津でのびのびと遊ぶ/香貫山香陵台の桜と五重塔 (左下から) 観光拠点となっている沼津港。10月にはSea級グループ全国大会が開催される/ヒト中心のまちなかを創り出す取組「OPEN NUMAZU」/3月にオープンを控える新総合体育館

